

器具型名	LEDK-78929NP-LD8E2
適合ポール径	φ114.3 以上

このたびは東芝LED照明器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

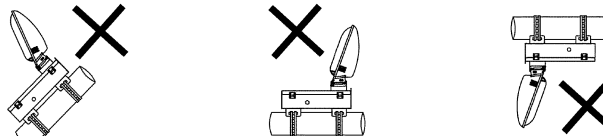
商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、
商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

・照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。

■工事店様へ

施工上のご注意

・工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	
●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。 ●電源線接続の際は、取扱説明書に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。 ●適合する径の支柱に取り付けて使用ください。適合しない径の支柱に取り付けた場合、器具落下の原因となります。 ●施工時において絶縁体にナイフなどのキズが付いた状態で通電されますと、絶縁破壊が生じ電線が焼損する原因となります。 ●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。 ●カバーを取り外して使用しないでください。浸水・絶縁不良の原因となります。	 取り付け  使用環境
●この器具は、海岸に面した臨海地域・沿岸地では使用できません。早期の錆発生、落下の原因となります。 ●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用すると変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因となります。 ●この器具は、激しい振動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所では使用しないでください。そのまま施工されますと、器具落下の原因となります。 ●この器具は防湿形ではありませんので、湿気の多い場所には使用しないでください。湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。	 アース工事
注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。	
●器具の定格電圧(定格±6%)、LED電源ユニットの電源電圧は、器具の取付の際に必ず御確認ください。間違っていると、電源、LED素子の短寿命、火災の原因となります。 ●周囲温度-10℃～35℃以外の場所では点灯しないでください。この範囲を超えて使用すると点灯不良、火災の原因となります。 ●風速60m/sを超える場所では使用しないでください。落下の原因となります。 ●器具に1mを超える雪もしくはこれに相当する氷雪が積もる場所では使用しないでください。そのまま使用されますと落下の原因となり、これに相当する場所で使用される場合は必ず除雪を行ってください。 ●施工時の一時的な点灯を除き、日中の連続点灯はしないでください。点灯不良、火災の原因となります。	 取り付け 器具の取り付けには方向性があります。下図のように、指定以外の取り付けを行わないでください。 斜め向き 上向き 下向き 

お客様はお読みになったあと必ず保管してください。

■お客様へ

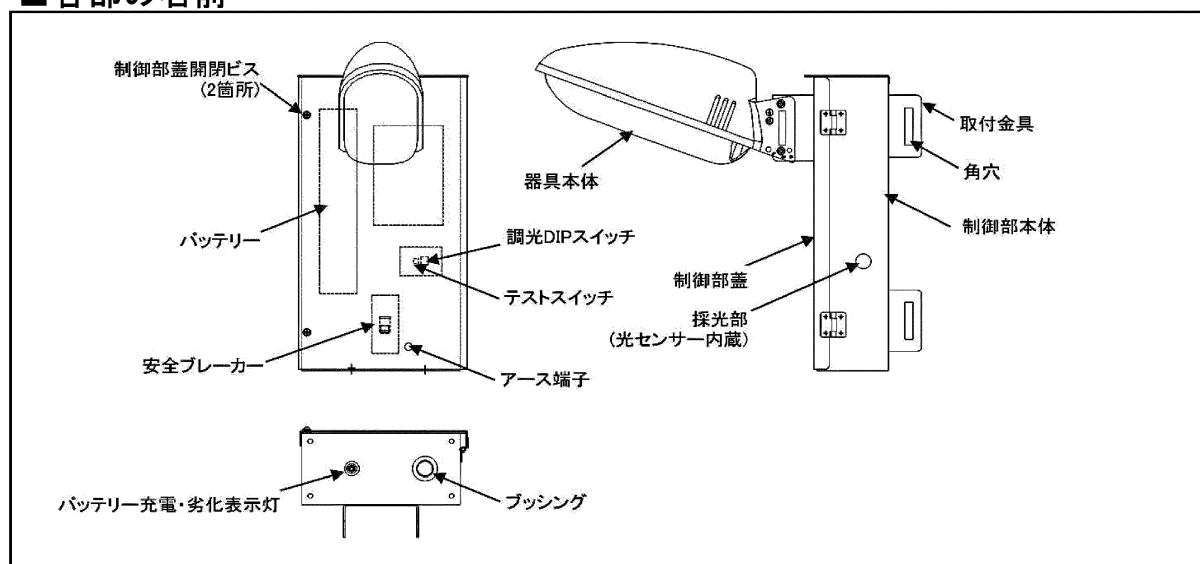
使用上のご注意

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	
●お手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下、感電、火災の原因になります。	●お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。  お手入れ
注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。	
●点灯中および消灯直後は器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。 ・万が一、カバーが破損した場合には、必ずカバーを交換してください。そのまま使用すると機能を維持できず早期寿命となります。 ・電源線が損傷を受けた場合は、電気工事士の有資格者による交換が必要です。 ・器具のお手入れの際、電源を切った消灯直後は器具が高温となっておりますので、しばらく(20～30分程度)時間をおいてからお手入れをおこなってください。 ・安全上LED光源を直視しないでください。 ・LED素子にはバラスキがあり、同一の型名の器具においても光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。 ・照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換を行ってください。 ・1年1回は「安全チェックシート」により自主点検、および3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。) ・点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る場合があります。	・器具の外表面やカバーの外表面の汚れは、乾いた布でふきとるか、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとってください。 ・ホースなどで直接器具に水をかけないでください。また、モップやデッキブラシなどを用いた清掃を行わないでください。 ・器具内への浸水や器具の破損の原因となります。    保守

■ 定格

器具型名	定格電圧	周波数	入力電流	消費電力
LEDK-78929NP-LD8E2	AC100～200V	50/60Hz	0.075A(100V/点灯時) 0.043A(200V/点灯時) 0.042A(100V/消灯時) 0.032A(200V/消灯時)	7.4W(100V/点灯時) 7.2W(200V/点灯時) 4.1W(100V/消灯時) 4.7W(200V/消灯時)

■ 各部の名前



■ 器具の取り付けかた

1. 器具の取り付け方 (図1)

(1) 制御部本体通線穴に器具本体の電線を通してください。

(2) プッシングを通線穴に取り付けてください。

※ 取り付けに不備がありますと、雨水等の浸水により機器の故障の原因となります。

(3) 器具取付用ビス (4本) で締め付けてください。

※ 締め付けに不備がありますと落下の原因になります。

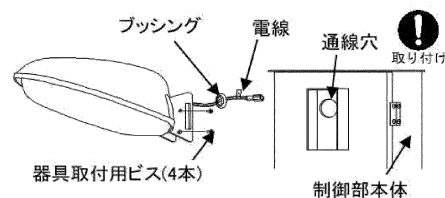


図1

2. 鋼管柱、コンクリート柱に取り付ける場合 (図2)

(1) 取付バンド (2本) (別売) を取付金具の角穴に通してください。

(2) 取付バンド (2本) (別売) を電柱に巻き付け

堅固に締め付けてください。

※ 締め付けに不備がありますと落下の原因になります。

※ 取り付ける鋼管柱はφ114.3以上としてください。

※ 必ず支柱径に適合する取付バンドを使用し

正規の取付方向に取り付けてください。

・ 推奨取付バンド: B-3、B-5

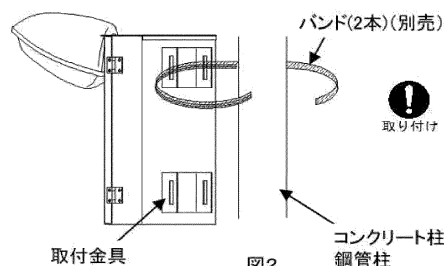


図2

3. 結線

(1) 制御部蓋の開閉ビスを緩め、制御部蓋を開いてください。

(2) 制御部本体下面のプッシングから商用電源線を通し

安全ブレーカーの上側に接続してください。(図3、図4)

※ 接続に不備がありますと、感電、火災の原因となります。

※ 芯線の細いより線 (1.25～3.5mm²) を使用する場合は棒 (板) 圧着端子をご使用ください。

(3) アース線を制御部本体のアース端子に接地してください。

※ アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

(4) 商用電源線に張力がかからないよう線押さえで固定してください。

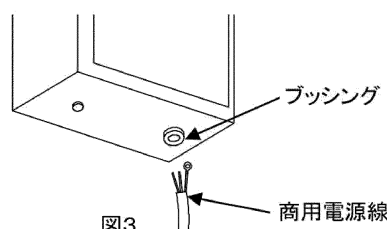


図3

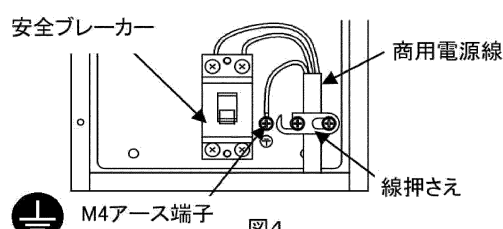


図4

■器具の取り付けかた

4. 商用電源接続

【重要】以下の手順は商用電源を通電する直前におこなってください。

- (1) 器具用コネクタ番号「1」を同じ番号のコネクタに接続してください。(図5)
- (2) バッテリー用コネクタ番号「2」を同じ番号のコネクタに接続してください。(図5)
- ※ コネクタは「カチッ」となるまで差し込んでください。
- ※ バッテリー用コネクタ番号「2」を接続するとバッテリー電源に接続され、器具が点灯します。



取り付け

周囲が明るい場合、約10秒点灯後、消灯します。

周囲が暗い場合、点灯を継続します。

- (3) 安全ブレーカーを「入」にしてください。

【重要】(1)の器具用コネクタ番号「1」の接続、(2)のバッテリー用コネクタ番号「2」の接続、

(3)の安全ブレーカーを「入」にする順番を間違えると機器の故障の原因となります。



接続順序

- (1) 制御部本体下面のバッテリー充電・劣化表示灯が点滅していることを確認してください。
- (2) 制御部蓋の開閉ビスを締め、制御部蓋を固定してください。
- ※ 電線を挟み込まないようにしてください。
- ※ 締め付けに不備がありますと不点灯、落下の原因となります。

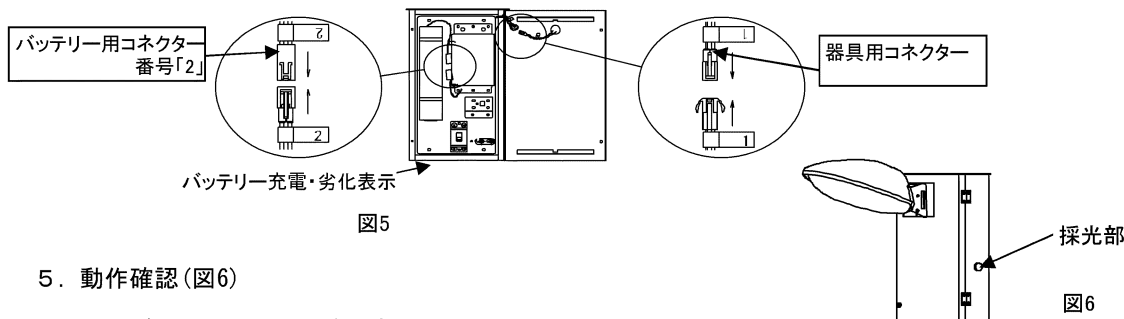


図5

図6

5. 動作確認(図6)

5-1. 周囲が明るい場合(器具消灯時)

探光部を遮光性の高い黒い布などで覆い、約10秒後点灯することを確認してください。

5-2. 周囲が暗い場合(器具点灯時)

探光部に光を当て、約10秒後消灯することを確認してください。

■バッテリー交換

停電対応蓄電池内蔵LED防犯灯に使用しているバッテリーには寿命があります。バッテリーの寿命は停電等でバッテリーでの点灯を行わない場合でも、経年による劣化が生じます。寿命を迎えたバッテリーは、交換の必要があります。使用環境や周囲温度で変化しますが、約5年程度で交換が必要となります。

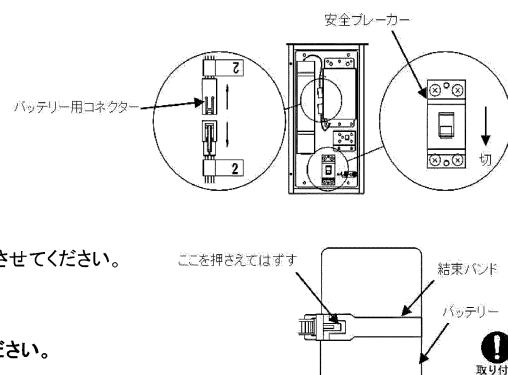
バッテリーの劣化診断を行う場合は、「■動作説明、3.バッテリー劣化診断(テストモード)について」の手順に従ってください。

バッテリー劣化診断にて劣化判定の表示が出た場合は、バッテリーの交換が必要です。工事店様へ連絡していただき、バッテリーの交換をお願いいたします。

・バッテリーの交換を行う場合は、下記の手順に従って作業をしてください。

【重要】専用バッテリー(形式:20BK-250SCH)をご用意ください。

- ① 制御部蓋の開閉ビスを緩め、制御部蓋を開いてください。
- ② 安全ブレーカーを「切」にしてください。
- ③ バッテリーのコネクタ(番号「2」)をはずしてください。
- ④ 結束バンド(2本)を緩めてください。
- ⑤ 古いバッテリーを取り出し、新しいバッテリーを設置してください。
- ⑥ 結束バンドで新しいバッテリーを固定してください。
- ⑦ 「■器具の取り付け、5.商用電源接続の(1)~(4)」の手順に従い、移動させてください。



【重要】⑧新しいバッテリーのコネクタ(番号「2」)を接続してください。

【重要】⑨安全ブレーカーを「入」にしてください。

【重要】⑩バッテリー充電・劣化表示灯が点滅していることを確認してください。

- ⑪ 制御部蓋の開閉ビスを締め、制御部蓋を固定してください。

※ コネクタは「カチッ」となるまで差し込んでください。

※ コネクタや安全ブレーカーを入れる手順を間違えないでください。機器の故障の原因となります。

※ 締め付けに不備がありますと、落下の原因となります。

・バッテリー使用後は、廃棄せずお近くのリサイクル協力店にご持参ください。



Ni-MH

■動作説明

1.システムについて

- (1)通常時は商用電源で器具を点灯させ、また内蔵のバッテリーへ蓄電を行います。
停電時にはバッテリーに蓄えられた電気を供給し、器具の点灯を継続する機能を有しています。
- (2)点灯制御は制御部本体内部の光センサーで行います。光センサーは従来の自動点滅器と同様に周囲の明るさを検知して器具のON/OFFを行います。
- (3)バッテリーの状態は制御部本体下面の「バッテリー充電・劣化診断表示灯」で判断します。(表1)

表1.バッテリー状態と表示灯

(●:点灯○:消灯)

バッテリー状態	表示灯	
満充電状態	点灯	●●●●●●●●
充電中	点滅	●○○●○○
バッテリー点灯中、テスト判定中	消灯	○○○○○○○○

2.停電時の調光モードについて

- (1)停電時にバッテリーで点灯する場合、下記のように調光モードが設定できます。
(商用電源での点灯時は反映されません。)

点灯モードの設定は制御部本体内部の調光DIPスイッチのスイッチ1、2で設定できます。(表2)

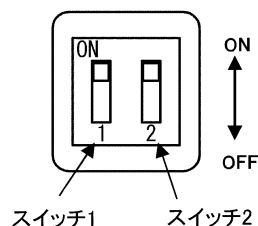
表2.調光モード設定

点灯モード	スイッチ1	スイッチ2	明るさ(%)	テストモード判定時間(時間)
12時間点灯	ON	OFF	50	12
24時間点灯	ON	ON	25	24

※ スwitch1:OFF、スイッチ2:OFF の設定はしないでください。

※ 出荷時の設定は12時間点灯モードになっています。

調光DIPスイッチ
(下図は24時間点灯モードの場合)



3.バッテリー劣化診断(テストモード)について

- (1)バッテリーの劣化診断(テストモード)ではバッテリーの劣化状態を判定することができます。
- (2)劣化診断は下記条件を満足している状態でテストスイッチを2秒以上押下することで開始します。
・バッテリー充電・劣化診断表示灯が点灯している。(バッテリーが満充電状態である。)
- ・商用電源が供給されている。
- ※劣化診断を開始すると昼夜関係なく判定が終了するまで点灯を続けます。
判定にかかる時間は調光モードの設定により変化します。(表2)
- ※判定中はバッテリー充電・劣化表示灯は消灯しています。
- (3)判定方法は、テストモード判定時間経過後にバッテリー充電・劣化診断表示灯の表示にて判定します。(表3)

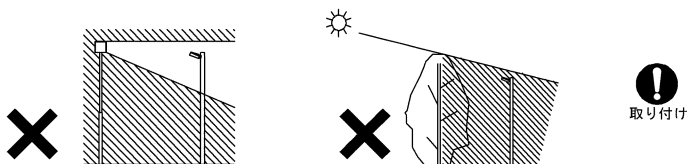
表3.判定結果と表示灯

(●:点灯○:消灯)

テスト判定	表示灯	
正常時	遅い点滅	●○○●○○
劣化判定	早い点滅	●○●○●○

■光センサーについて

光センサーは従来の自動点滅器同様、周辺の明るさを検知してON/OFFを行います。
設置場所によっては誤作動を生じる場合があります。あらかじめ設置・取付場所を確認の上ご使用ください。
街路灯の近くなど夜間でも明るい場所や、昼間でも暗い場所ではご使用になれません。



■器具の清掃のしかた

※ 器具お手入れの際は下記の作業を完了させてから行ってください。

- ・ 制御部本体内部の安全ブレーカーを「切」にしてください。
- ・ バッテリー用コネクター(番号「2」)をはずしてください。

- ① 器具のお手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。消灯直後は器具やランプが高温となっていますので、しばらく(20分～30分程度)時間をおいてからお手入れを行ってください。
- ② 器具の外面やガラスの内外面の汚れは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふきとってください。器具内のソケットや安定器などの電気部品に水滴がつかないように十分注意してください。
- ③ ホースなどで直接器具に水をかけないで下さい。また、モップやデッキブラシなどを用いた清掃を行わないでください。器具内への水の浸入や器具破損の原因となります。

■保守・点検のために

(施工記録) ランプ交換など保守のために、下表内容を確認の上、適切な保守用品をお求めください。

器 具 品 番		保守作業上の注記
取付年月日		

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規程』をご確認ください。

メーカー保証規程: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm

修理サービス規程: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または弊社ご相談センターにお問い合わせください。その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規程



修理サービス規程

保証について

- ・ メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より(引き渡し日)3年間です。但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。
- ・ 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048

(通話料: 無料)

携帯電話

046-862-2772

(通話料: 有料)

FAX

0570-000-661

(通話料: 有料)

ホームページアドレス

<https://www.tlt.co.jp/>

- ・ お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・ 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社

〒212-8585

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。